

付録 1 小樽市のあゆみ

西暦	元号	主な出来事
1865	元治 2年	幕府は「オタルナイ」を村並とする。
1869	明治 2年	開拓使を置き「蝦夷」を改め「北海道」と称し、「オタルナイ」を「小樽」と改める。
1872	5年	小樽郵便局開設。
1874	7年	小樽～札幌間電信線路完成。手宮、小樽、銭函に教育所を設置。
1880	13年	手宮(小樽)～札幌間鉄道開通。
1881	14年	明治天皇北海道御巡幸、小樽に御上陸。
1883	16年	小樽港外祝津に日和山灯台開設。
1889	22年	特別輸出港となる。
1893	26年	日本銀行派出所開設。
1896	29年	小樽商業会議所(現小樽商工会議所)設置。
1899	32年	区制施行される。外国貿易港(開港)に指定される。
1900	33年	市内電話開通。
1904	37年	稲穂町大火。
1905	38年	函館本線全通。
1908	41年	北防波堤完成。
1911	44年	小樽高等商業学校(現小樽商科大学)開校。
1914	大正 3年	上水道工事完成。小樽運河埋立工事(第1期)着工。
1916	5年	小樽為替貯金支局(現小樽貯金事務センター)開設。
1920	9年	第1回国勢調査実施。世帯数 21,276戸、人口 108,113人を数える。
1921	10年	南防波堤完成。
1922	11年	市制施行される。(8月1日)
1923	12年	第1回全日本スキー大会開催。小樽運河埋立工事(第1期)完成。
1924	13年	手宮駅構内で火薬大爆発。
1926	15年	第2期防波堤工事完成。
1927	昭和 2年	朝里川上水道工事完成。
1931	6年	小樽海港博覧会開催。
1933	8年	小樽～札幌間国道完成。市庁舎完成。
1936	11年	昭和天皇御巡幸。
1937	12年	開道70年北海道大博覧会開催。
1940	15年	高島町、朝里村を合併。第1号ふ頭完成。
1947	22年	市長公選制となる。
1948	23年	市消防本部発足。
1949	24年	開港50周年記念「港まつり」開催。
1954	29年	朝里川温泉郷を開発。第9回国民体育大会を開催し、昭和天皇・皇后両陛下をお迎えする。
1956	31年	稲穂町大火で色内小学校、石山中学校を焼失。博物館開館。産業会館完成。
1958	33年	塩谷村を合併。北海道大博覧会を開催(祝津)水族館開館。
1959	34年	市営朝里川温泉センター開館。市営青果物市場開設。
1961	36年	市商工会館完成。
1962	37年	豊倉浄水場通水。台風9、10号により大被害を受ける。市役所新庁舎完成。
1963	38年	青少年科学技術館開館。市民会館完成。「ニセコ・積丹・小樽海岸国定公園」に指定される。
1964	39年	新産業都市に指定される。国鉄高架橋 小樽～南小樽間完成。
1965	40年	開基100年記念式典開催。市民憲章制定。
1966	41年	ソ連のナホトカ市と姉妹都市提携。
1967	42年	第1回「潮まつり」開催。銭函浄水場完成。第3号ふ頭延長工事完成。
1968	43年	勤労青少年ホーム完成。国鉄(現JR)小樽～滝川間電化。
1969	44年	小樽港開港70周年記念式典開催。
1970	45年	新日本海フェリー「すずらん丸」就航。天神浄水場完成。特別養護老人ホーム「やすらぎ荘」完成。
1971	46年	常盤ダム完成。札幌自動車道開通。総合福祉センター完成。礼文塚衛生処理場完成。保健所新庁舎完成。
1972	47年	中央ふ頭完成。市制50周年記念式典開催。
1973	48年	公設青果物地方卸売市場完成。桂岡住宅団地造成事業完成。
1974	49年	北海道薬科大学開学。総合体育館開館。小樽第二病院完成。駅前再開発事業第一ビル完成。
1975	50年	勤労婦人センター(現勤労女性センター)完成。第1回ウインターフェスティバル開催。 駅前再開発事業第二ビル完成。
1976	51年	銭函市民センター完成。市役所分庁舎(旧貯金局)開設。稲穂駐車場完成。 駅前再開発事業第三ビル完成。室内水泳プール開館。
1977	52年	道立小児総合保健センター開設。鉄道資料館開館。廃棄物処理場完成。
1978	53年	プラスチックジャンプ台(潮見台記念ジャンツェ)完成。第1回ポートフェスティバル開催。 市立小樽文学館(分庁舎)開館。公設水産物地方卸売市場完成。

西暦	元号	主 な 出 来 事
1979	昭和 54 年	市立小樽美術館(分庁舎)開館。故 元市長 安達 與五郎氏に初の名誉市民称号贈呈。塩谷合同庁舎完成。
1980	55 年	第35回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催。勝納ふ頭完成。 おたる望洋パークタウン造成事業着工。北海道鉄道開通100年記念式典開催。ダニーデン市(ニュー ジーランド)と姉妹都市提携。色内地区用地造成事業完成。かつない臨海公園完成。
1981	56 年	利尻・礼文航路にフェリー「おたる丸」就航。おたる望洋パークタウン分譲開始。
1982	57 年	市制施行60周年。身体障害者福祉センター完成。塩谷児童センター完成。 特別養護老人ホーム「望海荘」完成。石狩湾新港に第1船入港。
1983	58 年	市立小樽図書館改築開館。道立中央乳児院完成。消防本部新庁舎完成。
1984	59 年	望洋台小学校開校。中央下水終末処理場一部供用開始。'84小樽博覧会を開催。 銭函土地区画整理事業に本格着手。産業廃棄物処分場供用開始。新光大橋開通。
1985	60 年	長橋バイパス建設工事着工。歴史的建造物指定開始。新博物館の開館。第1回小樽国際音楽祭開催。
1986	61 年	小樽運河散策路完成。地方都市中心市街地活性化(シェイプアップマイタウン)計画のモデル都市に指定。 “おたる自然の村”オープン。北海道職業訓練短期大学が総合高等訓練校から転換開校。朝里ダムに ループ橋(朝里スカイループ)開通。小樽運河周辺地区色内大通・緑山手地区を景観地区に指定。
1987	62 年	郵トピア構想モデル都市に指定。昭和62年度全国高等学校総合体育大会開催(体操及び新体操競技)。 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店修復工事竣工。
1988	63 年	SL(C62 - 3)が復活。美術館 中村 善策記念ホールオープン。銭函下水終末処理場建設工事着工。 都市景観賞を創設。
1989	平成 元 年	小樽市新総合計画策定。はまなす国体体操競技会開催。小樽港開港90周年。長橋バイパスが部分開通。
1990	2 年	小樽市観光物産プラザ(運河プラザ)開館。望洋台中学校開校。小樽港マリーナオープン。第1回伊藤整 文学賞贈呈式。稲一地区再開発ビル(A棟)完成。銭函下水終末処理場供用開始。
1991	3 年	市民消防防災センター完成。新斎葬場完成。石狩湾新港小樽市域樽川ふ頭供用開始。 稲一地区再開発ビル(B棟)完成。
1992	4 年	景観条例制定。市制70周年記念式典開催。市道塩谷蘭島山手通線の全線供用を開始。 札幌自動車道が道央自動車道と直結。
1993	5 年	新夜間急病センター完成。第8回海の祭典開催。広域農道全線開通。朝里ダム完成。利尻・礼文航路廃止。
1994	6 年	小樽市老人保健福祉計画策定。新日本海フェリー新ターミナルビル完成と新造船就航。 高島小学校温水プール完成。朝里ダム湖畔園地オープン。第25回全国中学校体操競技・新体操選手権 大会開催。国道5号長橋バイパス全線開通。小樽築港駅周辺地区土地区画整理事業の区域決定。
1995	7 年	小樽市消防署庁舎完成。小樽市民センター完成。小樽・コルサコフ間定期航路開設。 生涯学習プラザ完成。蘭島下水終末処理場(一部)完成、供用開始。
1996	8 年	観測史上最高の降雪を記録(1月9日)。小樽交通記念館がオープン。情報公開制度がスタート。 日ロフェリー 小樽～ホルムスク間新規就航。小樽築港駅周辺地区再開発事業の基盤整備に着手。 小樽市駅横駐車場を開設。
1997	9 年	小樽市新行政改革大綱を策定。パナマックス級船舶が初入港。ふれあいバス(バス無料乗車証など)の 交付を開始。長橋なえぼ公園がオープン。新しい総合計画「市民と歩む 21世紀プラン」基本構想議決。 おたる自然の村にパークゴルフ場オープン。小樽築港駅周辺地区再開発地区内で小樽ベイシティ建設 工事に着手。小樽市リサイクルセンターがオープン。
1998	10 年	小樽市総合計画「市民と歩む 21世紀プラン」スタート。朝里川公園全面オープン。中央地区再開発ふ頭の 第1期工事供用開始。小樽市望洋シャンツェ完成。ダニーデン市入植150周年記念小樽市民親善使節団 派遣。小樽市はつらつ長寿憲章を制定。運河公園完成。
1999	11 年	第1回“小樽雪あかりの路”開催。小樽市消防署銭函支署新庁舎完成。第54回国民体育大会冬季大会 スキー競技会(みなと・おたる国体)開催。小樽築港駅周辺地区(ばるて築港)にマリンロード、JR小樽築港 駅新駅舎、複合商業施設などがオープン。小樽市児童育成計画(エンゼルプラン)を作成。 港町ふ頭供用開始。小樽港開港100周年記念式典開催。築港臨海公園がオープン。 いなきたコミュニティセンター、いなきた児童館がオープン。
2000	12 年	小樽市高齢者保健福祉計画および小樽市介護保険事業計画を策定。小樽・サハリ州ホルムスク間日ロ 定期フェリー再開。小樽市廃棄物最終処分場(桃内)完成・供用開始。道道小樽定山溪線(ゆらぎ街道) 通年開通。全市で資源物の分別収集がスタート。小樽市中学校適正配置計画実施計画を策定。 手宮公園競技場の整備事業が完了。市議会広報紙「おたる議会だより」を創刊。
2001	13 年	子育て支援センター「げんき」オープン。国道5号(朝里～銭函間)の車道部分4車線供用開始。「高島越後盆 踊りの行事」を小樽市無形民俗文化財(年中行事)に指定。小樽まち育て情報センター開設。港町1号上屋 の供用開始。手宮線跡地をオープンスペースに整備。色内ふ頭公園整備工事が完了し供用開始。 旧手宮鉄道施設が国指定の重要文化財に指定。
2002	14 年	第1回スノーワンダーランドin望洋シャンツェ開催。新赤岩保育所オープン。おたる無尽ビルが歴史的建造物 に指定される。銭函パークゴルフ場オープン。小樽市市制80周年記念行事を開催。「義経号」と「しづか号」 が22年ぶりに再会。小樽・中国定期コンテナ航路開設。知恵のまちづくり・全国都市フォーラム開催。

付録 1 小樽市のあゆみ (つづき)

西暦	元 号	主 な 出 来 事
2003	平成 15 年	小樽フィルムコミッションの設立。日本銀行旧小樽支店が金融資料館としてオープン。 おたる健康総合大学がスタート。新市立病院基本構想を策定。 小樽駅開業100周年を記念して「裕次郎ホーム」誕生。第41回北海道障害者スポーツ大会が開催。 第1回世界職人学会in北海道が開催。港町ふ頭でタイヤマウント式ガントリークレーン供用開始。
2004	16 年	実質的な赤字予算が市議会で可決される。中央通の拡幅工事が完了。小泉総理大臣が視察のため来樽。 小樽～ホルムスク旅客航路を開設。市営勝納住宅2号棟完成。小樽港縦貫線平磯岬新ルート開通。 台風18号により市内に被害。北しりべし廃棄物処理広域連合ごみ処理施設着工。
2005	17 年	キッズベンチャー全国大会が開催。おたる水族館が「冬季特別営業」実施。家庭ごみ減量化・有料化スタート。 16年度一般会計が27年ぶりの赤字決算。望洋サッカー・ラグビー場オープン。北防波堤改良工事着手。 小樽港入港外国船籍4万隻達成。子育て支援施設「あそびの広場」が銭函にオープン。 小樽ロングクリスマス開催。
2006	18 年	観測史上2番目の最深積雪172センチメートルを記録。市立堺小学校を閉校。北海道横断自動車道(余市～小樽間)事業着手。小樽観光大学を設立。小樽・ソウル特別市江西区の友好親善協会が友好交流協定を締結。小樽公園「こどもの国」閉園。小樽市青少年科学技術館閉館。
2007	19 年	北後志6市町村のごみを処理する「北しりべし広域クリーンセンター」が本格稼働。室内水泳プールが閉館。 総合博物館がオープン。市営オタモイ住宅2号棟が完成。小樽公園内「こどもの国」跡地に設置した新遊具の供用を開始。旧手宮線を含む鉄道施設群が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定される。
2008	20 年	小樽短期大学開学式。小樽商科大学と小樽市が包括連携協定に調印。市議会で初のナイター議会を実施。 榎本武揚没後100年記念事業。北海道洞爺湖サミット記念植樹祭。 「小樽観光都市宣言～“今こそ”の心意気」を宣言。市立小樽文学館開館30周年。
2009	21 年	ソウル特別市江西区と友好都市を提携。小樽市総合計画「第6次小樽市総合計画」スタート。 「北しりべし定住自立圏構想」中心市宣言。新小樽駅前第3ビル「サンビルスクエア」がオープン。 アイアンホース号生誕100年祭記念式典開催。
2010	22 年	北しりべし定住自立圏形成協定合同調印式。ソウル特別市江西区と姉妹都市提携。 ダニーデン市姉妹都市提携30周年。新小樽地方合同庁舎が完成。
2011	23 年	市立小樽文学館・美術館を再整備。一原有徳記念ホールを開設。小樽商科大学が創立100周年。 奥沢ダムの廃止を決定。
2012	24 年	小樽・伏木富山・京都舞鶴の3港で「環日本海クルーズ推進協議会」を設立。 JR小樽駅の改築工事が終了し、駅なかマート「タルシェ」がオープン。 小樽市市制90周年記念行事として、航海訓練所練習船「日本丸」が入港。
2013	25 年	北海道・北海道電力(株)・後志管内16市町村が「泊発電所周辺の安全確認等に関する協定」を締結。 「運河のまち」である愛知県半田市、宮崎県日南市と小樽市が「災害時相互応援協定」を締結。 夜間急病センターを住ノ江1丁目に新築移転。老朽化した新光・オタモイ両共同調理場を統合した新たな「学校給食センター」が真栄1丁目に完成。小樽－ウラジオストク間にRO-RO船定期航路が開設。
2014	26 年	小樽市自治基本条例施行。新観光船「あおぼと」が就航。伊藤整文学賞25年の歴史に幕。 戸籍事務を電算化。二つの市立病院を統合し、新たに小樽市立病院を開院。
2015	27 年	陸上自衛隊第11特科隊・積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村と「大規模災害時等の連携に関する協定」を締結。小樽市いじめ防止対策推進条例を制定。小樽市生活サポートセンター「たるさぼ」オープン。 小樽市総合戦略を策定。
2016	28 年	手宮中央小学校が開校。おたる潮まつりが50回目の開催。市立図書館が開館100周年。 ロシア・ナホトカ市との姉妹都市提携が50周年。使節団が来樽。旧国鉄手宮線散策路完成。
2017	29 年	消防署オタモイ支署が開署。北陵中学校が開校。 石原裕次郎記念館閉館に伴い、寄贈された裕次郎さんの愛車(ロールス・ロイス)を総合博物館本館で展示。
2018	30 年	山の手小学校が開校。北海道小樽未来創造高校が開校。日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定。 「小樽の鉄道遺産」が北海道遺産に認定。後志自動車道余市IC～小樽JCTが開通。
2019	令和 元 年	「炭鉄港」が日本遺産に認定。新造船のひき船「たていわ丸」が就航。小樽港開基150周年・開港120周年記念行事を開催。第7次小樽市総合計画(基本計画)を策定。
2020	2 年	公共施設再編計画を策定。小樽港にフェリーが就航して50周年。 図書館が改修してリニューアルオープン。子育て世代包括支援センター「にこにこ」が保健所にオープン。
2021	3 年	小樽市消防署手宮支署が開庁。国道5号桃内－塩谷間に「塩谷トンネル」が開通。 最高気温が小樽観測史上最も高い36.2度を記録。北海製罐株式会社小樽工場第3倉庫が市へ無償譲渡。
2022	4 年	小樽市が市制施行から100年を迎える。旧三井銀行小樽支店が国の重要文化財に指定。 北海道新幹線の並行在来線、JR函館線長万部～小樽間のバス転換が決定。 小樽市公設青果地方卸売市場を廃止。
2023	5 年	小樽運河が完成から100年を迎える。銀鱗荘が国の登録有形文化財に指定。 統計を開始した1943年以降初めて最低気温が25度以上となる熱帯夜を記録。
2024	6 年	小樽市観光物産プラザ(通称:運河プラザ)営業終了。小樽市子ども家庭センター開設。 市内小中学校の普通教室でエアコンの稼働を開始。
2025	7 年	「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～『民の力』で創られ蘇った北の商都」として日本遺産認定。 勤労女性センターと総合福祉センターがウィングベイ小樽に移転。国が歴史的風致維持向上計画を認定。 子育て支援センター「おやこの集いの場」開設。